

■永六輔 若くしてラジオ番組でデビュー、作詞ほかマルチタレントぶりを発揮し、反戦活動などにも熱心に取り組んだ。

えいるくすけ

国際連盟脱退1933= 東京の順天堂医院で、代々東京元浅草の最尊寺の住職を勤めていた永忠順の子に生まれる。本名孝雄。江戸時代初期に渡来した中国の学僧が先祖で、父や祖父は永という姓を“ヨン”と名乗っていたという。

田中戦争始・1937= 4歳：「南京占領の提灯行列」が記憶に残る。

大政翼賛会・1940= 7歳：東京浅草の新堀小学校に入学。

日米開戦・1941= 8歳：「小学校が国民学校になり、少国民と呼ばれるようになった」ことが思い出になる。

.....1942= 9歳：

年金+総武装 1944=11歳：長野県北佐久郡南大井村へ学童疎開し、その国民学校に転校、

敗戦.....1945=12歳：東京大空襲で実家の最尊寺が全焼。玉音放送を校庭で聞く。

新憲法公布・1946=13歳：旧制上田中学校に入学。

新憲法施行・1947=14歳：三木鶏郎発案のNHKラジオ「日曜娯楽版」が放送開始。帰京し、早稲田中学校に転入、

極東裁判判決・1948=15歳：この年、「淀川長治が始めた『東京映画友の会』」に参加し、

三大事件.....1949=16歳：新制になった早稲田高等学校1年になる。「学校をさぼって松竹歌劇団のレビューを見続け、渥美清をリーダーに、鉱石ラジオを組み立てるグループを作り、NHKラジオ『日曜娯楽版』にネタを投稿するうち、

朝鮮戦争始・1950=17歳：*『日曜娯楽版』にコント採用が採用されて、

独立回復.....1951=18歳：『日曜娯楽版』発案者の三木鶏郎にスカウトされ、

メデー事件・1952=19歳：卒業。早稲田大学第二文学部史学科に入学し、民俗学者宮本常一の影響を受ける。「トリローグループのメンバー」になる。『日曜娯楽版』の政治諷刺が問題化し、『ニューモア劇場』に代わる。

テレビ放送始・1953=20歳：大学は中退。「民放ラジオ開局ラッシュ」が続くテレビ開局で、超多忙になって、

自衛隊発足・1954=21歳：「ニューモア劇場」も終了させられ、文化放送「みんなでやろう冗談音楽」に引き継ぐなか、「日本テレビ『青春カレンドール』、文化放送『トリス・ジャズ・ゲーム』で、構成を担当し始め、

55年体制始・1955=22歳：ディズニー映画の日本語版製作にかかわって、黒柳徹子に出会い、

国連加盟.....1956=23歳：「わんわん物語」ほかに、声優として出演。「冗談工房」が発足、社長に就任。酒井昌子と結婚。

なべ底不況・1957=24歳：ギャグを指導し、新聞記者役で出演した映画「フランキーの宇宙人」公開。

イスタンブール・1958=25歳：構成担当の日本テレビ「光子の窓」開始。同志と「若い日本の会」を結成、

美智子妃.....1959=26歳：長女千絵が誕生。「日本初のフリートーク企画したラジオ関東『昨日のつづき』で、初めて出演もするが、早々に喧嘩別れして大橋巨泉と交代。作曲家中村八大からの依頼で作詞活動始めるや、「黒い花びら」が第1回レコード大賞。以後、コンビでヒット曲連発するなど、マルチタレントぶりを発揮する一方、

安保闘争.....1960=27歳：大阪労音ミュージカル「見上げてごらん夜の星を」を作・演出。「若い日本の会」メンバーと安保反対運動に参加。「光子の窓」の脚本を落として番組を下ろされたりする。

タイタイ病始・1961=28歳：次女麻理が誕生。最初の著書「一人ぼっちの二人」。「上を向いて歩こう」を坂本九が歌って、大ヒット。

全国総合計画1962=29歳：NHK『夢であいましょう』で、作詞の歌「遠くへ行きたい」など次々ヒット、

TV宇宙中継始1963=30歳：「上を向いて歩こう」が、アメリカで「スキヤキ・ソング」となって「ビルボード」誌一位になり、「こんにちは赤ちゃん」が第5回レコード大賞、NHK『紅白歌合戦』にゲスト出演。

東京初レベッカ 1964=31歳：大阪暮らしを始め、上方芸人と親交。この間、「話の特集」の常連執筆者にもなっている。

大学紛争始・1965=32歳：「ベ平連」結成に参加。いずみたくらと「ほんのうた」シリーズ開始。「わらわらて芸能一〇〇年史」出版。

いざなぎ景気1966=33歳：学生のみやま（ニコニコ堂）をつくる。「夢であいましょう」が終了すると、活躍の場をラジオに求め、

美濃郡都知事1967=34歳：TBSラジオ「どこか遠くへ（誰かとどこかで）」開始。脚本の映画「トップ・ジョージ」のボタン戦争公開。

霞ヶ関レベッカ・1968=35歳：NETテレビ「モーニングショー」の現地レポーターを引き受けるも、喧嘩して放送中に降板。

全典開レベッカ・1969=36歳：「ほんのうた」はアルバム第4集で完結。東京渋谷に開館の「ジャンジャン」の常連出演者に。*TBSラジオ深夜放送「バック・イン・ミュージック」のパーソナリティーに、以降は付き合いを除く作詞活動から撤退。

大阪万博.....1970=37歳：あまりの人気に、ニセ弟が現れるが、容疑者逮捕で決着。「TBS土曜ワイドラジオTokyo」の初代パーソナリティーになるなど、最も適性を発揮し、長く続き、

ドルショック.....1971=38歳：佐渡の鬼太鼓座結成支援。「前年に始まったワンマン番組テレビ『遠くへ行きたい』は早くも降板。

日中国交回復1972=39歳：「みだらまんだら」「七人の唄」など著書次々に出版。舞台でバラエティーショー「六輔その世界」開始。

石油ショック1973=40歳：NHK歴史番組「スポットライト」司会で久々にテレビ出演。京都「宵々山コンサート」企画・出演（以後40年）。

角栄金脈辞任1974=41歳：「生きているということは」で歌手デビュー。武道館で、野坂昭如・小沢昭一の「中年御三家」公演。

ケアンズ事件1975=42歳：小沢昭一の劇団旗揚げに「清水次郎長伝・伝」作・出演し、全国巡業。「土曜ワイドラジオTokyo」降板、

田中角栄逮捕1976=43歳：「ラジオや舞台で尺貫法復活を訴え、中年御三家「計量法粉砕コンサート」」。TBSラジオ「六輔七転八倒」始。

JALバトンジャック 1977=44歳：計量法を問う劇を創作し主演で全国巡業。映画「春男の翔んだ空」主演。革新自由連合結成に参加。

成田衝突.....1978=45歳：この頃、佐渡共和国独立運動に取り組む。

.....1981=48歳：恩師宮本常一が死去。渋谷ジャンジャンで初の「六輔七転八倒九時間しゃべりっぱなし」。

中曽根内閣 1982=49歳：この頃、離島や過疎村で「村おこし」に打ち込む。テレビ「遠くへ行きたい」600回記念に出演。

ドイツニアフト 1983=50歳：参院選比例代表区に無党派市民連合一位で立候補するも落選。野坂昭如の総選挙応援（新潟）で襲われる。

.....1984=51歳：テレビ「遠くへ行きたい」700回記念に出演。

ジャコブ機墜落 1985=52歳：日航機墜落事故で坂本九が死去、本葬で司会を務める。

バブル始.....1986=53歳：浅草の実家最尊寺で寄席「永住亭」開始。坂本九をしのぶ催し「六八九の九」（渋谷ジャンジャン）。収録済みのテレビ「遠くへ行きたい」中止（スポンサーの国鉄の分割・民営化に「異議あり」広告を新聞に出したため）。

竹下内閣.....1987=54歳：この頃から各地で「ザブトン講演会」「投げ銭講演会」、

昭和天皇没・1989=56歳：東京有楽町の第一生命ホール（さよなら公演）の総合プロデュース・司会。

ドイツ統一.....1990=57歳：父忠順が死去。

ソ連崩壊.....1991=58歳：「土曜ワイドラジオTOKYO永六輔その新世界」開始。テレビ「遠くへ行きたい」5年ぶりに出演。TBSテレビ放送40周年記念特別番組で、自らの進行を無断で遮られたことに憤慨し、またも、途中退場。

バブル崩壊・1992=59歳：いずみたく、中村八大が死去。日本テレビ深夜番組「2×3が六輔」開始（構成・出演）。NHK放送文化賞。

55年体制終・1993=60歳：学生のみやま（ニコニコ堂）出身の松原敏春に向田邦子賞、井上類一賞、井上類一賞。

自社と連立・1994=61歳：恩師三木鶏郎が死去。末期がん患者に頼まれ「はるなつあきく」作詞。*岩波新書「大往生」刊行、

オウム事件 1995=62歳：阪神・淡路大震災で、「ゆめ・風・10億円基金」呼びかけ人代表に。「ミリオンセラー」に。

.....1996=63歳：渥美清が死去。NHK衛星放送でドラマ「大往生」（森繁久弥主演）。

金融破綻.....1997=64歳：思想的には真逆だった黛敏郎急逝で、テレビ朝日系「題名のない音楽会」司会を引き受ける。

.....1998=65歳：淀川長治が死去。野坂昭如・小林亜星と「世直しトリオ」で「参院選の投票に行こう」と呼びかける。

石原都知事・1999=66歳：母登代が死去。

.....2000=67歳：「ラジオの活動で」菊池寛賞。

小泉9.11テロ2001=68歳：

小泉北朝鮮・2002=69歳：妻昌子が死去、在宅で看取る。中山千夏が校長の私塾（学校ごっこ）にも参加（5年間）。

イラク戦争・2003=70歳：NHK人間講座「人はなぜ歌うか〜六輔流・日本音楽史」放送。

民主党政権・2008=75歳：「ギャラクシー賞45周年記念賞」。

リマソニック.....2009=76歳：「前立腺がん」と診断されて以降、一気に身体不調になり、次いで、呂律が回らなくなり、「パーキンソン病」と診断。句会の帰りに乗ったタクシーが交通事故。NHKで、闘病しながら活動するドキュメンタリー番組「永六輔 戦いの夏」が放送される。投薬治療では、ラジオの会話が滞りかになり、

東日本大震災2011=78歳：大震災被災地に「上を向いて歩こう」など流れる。「自宅で転び大腰骨頸部骨折するも病院からラジオ出演。

安倍政権発足2012=79歳：小沢昭一が死去。「退院後のリハビリで歩行可能になるも、今度は、大腸ポリープ切除手術。

.....2013=80歳：「毎日芸術賞特別賞」。「遠くへ行きたい」7年ぶり最後の出演。「永六輔の誰かとどこかで」の放送終了。

.....2014=81歳：「自宅で転び背骨圧迫骨折（歩行困難になり、在宅看護・介護）。「週刊金曜日」の「無名人語録」も終わる。

.....2015=82歳：野坂昭如が死去。「土曜ワイドラジオTOKYO永六輔その新世界」終了、「六輔七転八倒九十分」開始も、

トランプ登場2016=83歳：「何度も出演してきた『微子の部屋』40周年記念ゲストに、大橋巨泉とともに出演したが、歩けなくなり入院。なお「六輔七転八倒九十分」に病院から出演したが、退院後、まもなく、没した。直後に巨泉も死去、放送界の巨人の時代は終わった。

隈元信一「永六輔 時代を旅した言葉の職人」、Wikipedia、